

## 平成23年度第1回広島市スポーツ推進審議会 会議録

### I 開催日時

平成24年3月26日（月） 午後2時00分～午後3時30分

### II 開催場所

広島市役所本庁舎14階 第7会議室

### III 出席者

#### 1 委員 20名中14名出席

東川会長、小野副会長、越崎委員、亀田委員、阪田委員、崎田委員、曾根委員、竹本(久)委員、竹本(美)委員、鍋島委員、西野委員、西原委員、満田委員、山下委員  
(欠席：赤川委員、中本委員、萩原委員、本川委員、山本委員、吉長委員)

#### 2 オブザーバー 3名中1名出席

空間オブザーバー  
(欠席：中野オブザーバー、富中オブザーバー)

#### 3 事務局（市）

市民局長、市民局文化スポーツ部長、スポーツ振興課長、  
教育委員会学校教育部指導第一課課長補佐

### IV 会議次第

#### 1 開会

#### 2 議事

- (1) 「広島市スポーツ振興審議会運営要領」、「広島市スポーツ振興審議会の公開に関する取扱要領」及び「傍聴要領」の改正について
- (2) 「広島市スポーツ振興計画」の推進施策について
- (3) 平成24年度 スポーツ振興関係予算について

#### 3 閉会

### V 公開・非公開の別

公開

### VI 傍聴者

0名

### VII 会議資料

平成23年度第1回広島市スポーツ推進審議会 次第

広島市スポーツ推進審議会委員等名簿

議事関係

議事資料1 : 「広島市スポーツ振興審議会運営要領」、「広島市スポーツ振興審議会の公開に関する取扱要領」及び「傍聴要領」の改正について

議事資料2-1 : 「広島市スポーツ振興計画」の推進施策体系

議事資料 2-2 : 「広島市スポーツ振興計画」の主要な推進施策について

議事資料 3 : 平成 24 年度 スポーツ振興関係予算

#### 【参考資料】

平成 23 年度広島市議会における「広島市スポーツ振興計画」にかかわる主な質問及び答弁要旨

### Ⅷ 会議・発言の要旨

#### 1 開会

#### 2 議事

- (1) 「広島市スポーツ振興審議会運営要領」、「広島市スポーツ振興審議会の公開に関する取扱要領」及び「傍聴要領」の改正について】

〔スポーツ振興課長〕

(議事資料 1 説明)

〔東川会長〕

事務局からの説明に、何かご意見あるいは質問があったらお願いしたい。

元になる法律が変わり、それを反映したことによる変更ということになる。これで良いか。

〔全委員〕

意義なし

〔東川会長〕

それでは、議事 1 については、承認いただいたものとする。

- (2) 「広島市スポーツ振興計画」の推進施策について

〔スポーツ振興課長〕

(議事資料 2-1、2-2 説明)

〔東川会長〕

議事 2 について事務局から説明があったが、かなり多岐にわたり、細かく多くの推進施策の具体例が示されている。

少し時間を取りもう一度ご覧いただき、その後、委員の皆様から、どこからでも結構かと思うのでご意見をいただきたい。

〔竹本（美）委員〕

1 ページの「スポーツ施設の利用促進」の今後の主な取り組みとして、新規で「幼児と保護者が一緒に運動できるようなプログラムやメニュー・・・」をあげているが、子どもを預けて保護者が運動できるようなプログラムやメニューを取り入れていただければ有難いと思う。

また、2 ページの「各種クラブやサークル、指導者やボランティアなどの紹介・あっせん」だが、元保育士など託児の先生がチャイルドマインダーという資格を持てば、幼稚園や保育園での指導は無理でも、一時託児ということで一時的に預かることができる。このことが東京で

広がっているのです、ぜひ広島市でも広めていただけたらと思う。

#### 〔鍋島委員〕

只今の説明により、広島市スポーツ振興計画を振り返ることができたが、本当にいい方針が固まったなという気がしている。

スポーツ振興計画で数値目標を今回、明確に入れているので、具体的な実施段階において、目標数値を意識した形で物事ができあがっていくのではないかと思う。

ただ、今回の新規の取り組みでもそうだが、アセスメントがあまりできてない形での数値目標を出したという背景も感じられるが、大きなところでは理解して推奨させていただいた。

「アンケート調査をやって課題を把握する」という取り組みがたくさん出ているが、調査することにより実態が明確になり、それに合った形の実施方法が出てくると思う。

質問だが、目標が明確になりアセスをして、具体的な実施方向を出して、最後はどう評価していくかということになると思う。その評価もトータル的な形が数値目標に対してどういう結果に結びついたかという形につながっていくのではないかと思う。評価の物差しというのは非常に難しいと思うが、何か、そういう物差しは考えているのか。全体を通して、個別に通してもそうであるが、評価をどうされるのか、考え方があれば聞かせてほしい。

#### 〔スポーツ振興課長〕

4つの基本方針にそれぞれ数値目標を設定し、10年後の在り方を出している。例えば、「週1回以上スポーツをする市民の割合を3人に2人以上にする」、「国民体育大会に出場する広島県選手に占める広島市選手の割合を50%以上にする」、「トップス広島に加盟するチームの試合を年1回以上会場で観戦した市民の割合を50%以上にする」などである。

広島県選手団に占めている広島市の選手の割合というのは必然的に数値として出てくる。週1回以上スポーツをする人の割合3人に2人、あるいは、トップス広島のチームの試合観戦を50%以上というのは、広島市で毎年実態調査をしており、そのアンケート調査項目の中で市民の方に聞くようにしている。新体力テストの結果については毎年発表するようになっている。

そういったところが、最終的に目標になるのではないかと考えている。ちなみに週1回以上スポーツをする市民の割合は3人に2人以上にするという目標で、平成23年度市民の実態調査アンケートを実施している。その結果としては46.9%とまだまだ目標には達していないが、そのような形で数値については出していこうと考えている。

#### 〔西野委員〕

3ページの「障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進」のところだが、今、「障害者」を表記するにあたり「害」という字が漢字から平仮名になっているものが多くあると思う。名称等に関わることで変えられないところもあると思うが、可能な範囲で「害」の字を今の流れに沿って平仮名にされることを検討されてはどうか。また、「車椅子」についても「車いす」と表記するよう検討いただければと思っている。

#### 〔東川会長〕

基本計画との整合性もあるが、少し柔軟に考えられるものなのか。

#### 〔スポーツ振興課長〕

考えていきたいと思っているが、広島市の組織もそうだが、障害福祉課、障害自立支援課のいずれも「害」は漢字を使っている。

これについては、今の民主党政権の中でその標記の仕方について、今の障害者自立支援法を廃止して、新たな障害者福祉法をつくるという検討の過程の中で標記の仕方も併せて検討している。障害自立支援法そのものが廃止ではなく、今回部分改正となり、そこらの議論がどのようになったのか、また、市の組織名称とか条例等については従来通りの漢字を使っている。

こういった任意の計画上で定まった言葉は途中で私どもが勝手に変えることは出来ないが、今後、照会や報告をさせていただく部分については、できるだけ時代に則した形にさせていただければと思っている。

#### 〔東川会長〕

基本的な施策の方針が審議会で答申として示され、それを具体的に進めていく上での第一歩であると受け止めている。先ほど、鍋島委員からあったように、調査に向けて現状はどうか、今からどうしていくべきなのか検討していくことが必要である。

#### 〔山下委員〕

新規の事業が40～50項目あるが、それをいつ頃までに検討して、ある程度の具体的な成案を持った中で実施していくなど、時系列的なものがこれでは見えてこない。これでは絵に描いた餅で終わるのではないか。5年後にやるものか、3年後にやるものか、今日からやるものか、明日やるものか。そういうものがはっきり見えてこない。

#### 〔スポーツ振興課長〕

言われるとおりでである。関係部局が多岐にわたるので、照会などで調整を図ってきた。

新規施策の中で、手持ち資料には、短期的なものを3年、中期的なものを5年、長期的なものを10年で整理している。今日説明させていただいた中にも、当面を見据えたものと中期的なもの、長期的なものを整理した上で準備している。

あまりにも多岐にわたり、総花的な計画であるので、物事を進めていくにあたっては、選択と集中ということで、ある程度初期の段階でいくつか選んで集中的にやっっていこうと思っている。

#### 〔東川会長〕

私もいつまでやるのかということが気になっていた。

例えば、総合型地域スポーツクラブの最初の「既設7クラブ等の意見聴取等の実施」を10年間やっていってもどうにもならない。時系列的なものがあった方が実施する方も予算等の確保や完成年度等の整理もし易い。私からの希望としてもぜひお願いしたい。そうでないと多分見えてこないと思う。

#### 〔曾根委員〕

全体的な計画を久しぶりに読んで、県は新たな国の計画が出てから作るということだが、こちらは既に作ってあるので、新たな国の計画を見ないで作っていることがいい。独自のものがある程度入っているのが良かった。

ただ、1点ほど気がつかなかったことがある。大学生をどういうふうに強化し、指導者として、ボランティアとして育てていくのかということが抜けていた。

幼児も含めて小学校、中学校、高等学校、そしてトップアスリートに関しては施策が組み易いようになっているが、大学生に関するものが抜けていた。広島にとって、大学生は素晴らしい資源であり財産である。これを活用していかなければいけないということ。

1点は、新しい若い指導者が少ない。年齢の高い指導者が多くなっていて、いつまでも過去の栄光の中で指導していることはいかかなものかと思っている。若い指導者をどんどん育てていかなければいけない。競技成績を問わず、若い学生たちを指導者としてどういうふうに育成するかということを広島市のスポーツ計画の中でやっていかななくてはいけない。

もう一つは、ボランティアとして今の学生たちがどのように成長していくのかということも重要である。例えば、9ページの基本方針3の中の競技力の向上「ジュニア選手の育成・強化」の今後の主な取組の中で「小学生から高校生までの一貫した指導体制の構築に向けて、小・中・高校生を指導する指導者が一堂に会し、情報の共有化を図る場として、スポーツ指導者シンポジウムを開催」のところに、大学生を含めて、新しいスポーツ指導者も含めて育成するような大学生向けのようなものもあっていいと思う。

大学生というのは、例えば、広島大学なんかはスポーツに関し専門に習っている学生もいるが、ほとんどが任意で色々な事をやっているの、知識のないまま、日々伝統的な練習の中でやっている学生達もいるので、新しい知識、スポーツに関する知識、ボランティアに関する知識を学生達に市として提供していくことがスポーツ推進の大きな力となっていくのではないかな。

#### 〔東川会長〕

一言で言うなら、若い指導者の育成や一貫した指導が必要である。今後、計画の中に入れることができるのか。

#### 〔スポーツ振興課長〕

本日お集まりの委員の皆様にご検討いただき、つくった計画である。

計画として今の段階では、5年後の見直しの時にあるかもしれないが、今はこのままでいきたい。ただ、色々な取り組みの時には、9ページに「指導者の養成・確保」という表題にあるように、そのために何を取り組んでいくかということについては、具体的にどんな取組をすればこれが推進できるか、色々とお知恵をいただきたい。

#### 〔曾根委員〕

柱として掲げられていないので、非常に難しいと思う。ただ、見直しの時に検討をお願いしたい。具体的な部分になった時に組み込めれば組み込むなど、やっていければと思っている。そこがすっぱり抜けていたので反省として発言した。

#### 〔東川会長〕

今のことの取り扱いは事務局と相談しながら、今、できるようなものもあるかもしれないので、ここに書かれている文言の中に含めるような形で、幅広く解釈できるようなことができれば考えていきたい。

## 〔越崎委員〕

私は、中国電力で現役の卓球部をしていて、この1年は引退してOGになったが、たまに高校や中学校へ教えに行く機会がある。ここに書かれている「指導者の確保」ということで、私がい実際に中・高校生を対象に指導をする時、部活の指導者の教え方について気になることがある。選手だけの強化ではなく、指導者に対する講習会などを実施できればいいなと思う。

## 〔東川会長〕

色々なところで「指導者は大切」ということをよく聞く。現場からの意見ということであった。

## 〔竹本（久）委員〕

今後の主な取り組みの中で「異校種間におけるスポーツ交流の実施」、「にぎわい創出に向けて地元スポーツや観光部局との連携」など、興味を持っているところがある。

これらの取り組みについては短期、中期、長期と事務局サイドでは割り振りをして考えているようだが、新規或いは拡充の中で3年以内に取り組みでいくものを示していただければありがたい。

## 〔スポーツ振興課課長補佐〕

### 【基本方針1：地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興】

『市民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会の提供と環境づくり』だが

「総合型地域スポーツクラブの設立支援及び運営協力」の

★新規「既設7クラブ及び学区体育協会に対する意見聴取等の実施」は、短期で3年

★新規「意見聴取等を踏まえ、地域スポーツ振興担当コーディネーターやスポーツ推進委員と連携しながら「広島に風土に適した総合型地域スポーツクラブ」の設立促進に向けて検討」は、中期で5年

「スポーツ施設やスポーツイベント等に関する情報提供」の

★新規「ICTを活用し、スポーツ施設やクラブ・サークル、スポーツイベントなど広島のスポーツ情報を総合的に発信する情報サイトの開設に取り組む。」は、長期で10年

「スポーツ施設の利用促進」の

★新規「幼児と保護者が一緒に運動できるようなプログラムやメニューを、地域の子育て支援グループとの連携により検討し提供」は、中期で5年

「スポーツセンター等でのスポーツ教室等の開催」の

★新規の「各種スポーツ教室等の現状及び課題を把握するため、施設利用者へのアンケート調査等を実施」は、短期で3年

★新規「利用者ニーズに応じた多彩で魅力のあるスポーツ教室や体験教室の実施に向けて検討」は、中期で5年

「各種クラブやサークル、指導者やボランティアなどの紹介・あっせん」の

●拡充「ひろしま市民活動支援総合情報システム（ひろしま情報a-ネット）」の効果的なPR及び各種クラブ・サークル、講師・指導者・人材バンクなどの掲載情報の充実」は、中期で5年

★新規の「スポーツ・サポート・センターの効果的なPRや登録、紹介・あっせんの仕組みの充実」は、中期で5年

「身近にある海や川、山を利用したアウトドアのスポーツ・レクリエーションイベントの実施」の

●拡充「四季折々の自然を楽しめるよう、関係団体と連携し、海・山・川を利用したアウトドアのスポーツ・レクリエーションイベントを年間を通して実施」は、中期で5年

『健康づくり・体力づくりに向けたスポーツの振興』だが

「子どもから高齢者までの健康づくり・体力づくりのための事業の実施」の、

★新規の「民間スポーツクラブの利活用の必要性を検討するため、関係団体との意見交換会を開催」は、短期で3年

★新規の「意見交換会の結果を踏まえ、民間スポーツクラブとの連携方策について検討」は、中期で5年

「健康づくり・体力づくりに関するスポーツセンターの相談機能の強化」の、

★新規の「管理栄養士、保健師等と連携した栄養や生活習慣に関する相談活動の実施に向け、関係者による検討会議を開催」は、短期で3年

★新規の「関係者による検討会議の結果等を踏まえ、市民のニーズに応じたスポーツセンターの相談機能の充実に向けた取組を検討」は、中期で5年

『障害者のスポーツ・レクリエーション活動の促進』だが

「障害者・健常者が共に楽しむことのできる行事の開催」の

★新規「障害の有無に関わらずスポーツを楽しむことができるスポーツ行事等の構築に向け、関係者と連携しながら、課題の洗い出し及び問題点を整理」は、中期で5年

「障害者スポーツの普及・振興」の

★新規「障害福祉に関するアンケート調査結果」等の活用により課題を洗い出し、障害者がスポーツに親しみやすい環境づくりについて検討」は、中期で5年

『地域における子どものスポーツ活動の促進』だが

「地域スポーツ振興担当コーディネーターによる子ども会や児童館の事業への支援」の

★新規「地域イベントや事業等の現状及び課題を把握するため、関係者会議を開催」は、短期で3年

★新規「関係者会議で把握した現状及び課題を踏まえ、地域イベントや事業等への効果的な支援策を検討」は、中期で5年

「広島市スポーツ少年団や広島市小学生体育連盟の活動への支援」では、

●拡充「地域における子どものスポーツ活動の現状及び課題を把握し、関係団体が連携して行うことができる取組内容を検討」は、中期で5年

★新規「子どものスポーツ活動の現状及び課題を把握し、子どもがスポーツボランティアとしてどのような活動ができるのか取組内容を検討」は、中期で5年

『地域コミュニティの活性化や国際交流の推進に向けたスポーツの振興』だが

「地域スポーツ振興担当コーディネーター等によるスポーツセンターを拠点とした地域コミュニティの活性化」の

★新規「スポーツ協会や各種地域団体と連携しながら、多世代でニュースポーツを体験できるイベント等の開催など、異年齢・世代間の交流が盛んになる新たな事業展開について検討」は、中期で5年

「スポーツセンターの特色を生かした事業展開」の

★新規「スポーツセンターが実施する事業等の現状及び課題を把握するための関係者会議の開催」は、短期で3年

- ★「関係者会議において把握した現状や課題を踏まえ、地域団体や関係機関と連携した地域の特色を生かした事業の実施を検討」は、中期で5年
- 「市民が主体となって行うスポーツイベントや市民団体と連携したイベントの実施」の
- 拡充「スポーツ・レクリエーションフェスティバルや区民スポーツ大会を実施するとともに、誰でも気軽に参加できるよう、大会内容を検討」は、長期で10年
- 拡充「イベント開催時にアンケートを実施・分析し、参加者のニーズ把握に努めるとともに、反映方法などを検討」は、中期で5年
- ★新規「地域スポーツ振興担当コーディネーターとスポーツ推進委員が連携して企画段階から市民が参加できる仕組みを検討」は、長期で10年
- 『スポーツ・レクリエーション活動を支える組織や人材の育成』だが
- 「学区体育協会の活性化」の
- ★新規「学区体育協会の現状及び課題の把握のための担当者会議の開催」は、短期で3年
- ★新規「現状の問題点等の把握のための学区体育協会へのアンケート調査の実施」は、短期で3年
- ★新規「学区体育協会の部・サークル・チーム加入者数の増加策の検討」は、中期で5年
- 「体育指導委員活動の活性化」の
- ★新規「活動における問題点等の把握のためのスポーツ推進委員へのアンケート調査の実施」は、短期で3年
- ★新規「アンケート調査の結果等を踏まえた今後の活動の活性化に向けた方策の検討」は、中期で5年
- 「スポーツボランティアの登録・派遣」の
- 拡充「市民が実践するスポーツ活動や各種団体が開催するスポーツイベントを支援するスポーツインストラクターボランティアの効果的PRや紹介のシステムの充実の検討」は、中期で5年
- 『スポーツ・レクリエーション活動の場の整備・充実』だが
- 「スポーツ施設の整備・充実」の
- ★新規「各スポーツ施設の建物、設備について劣化状況等の調査・点検・評価を実施し、保全計画を作成」は、長期で10年
- ★新規「この保全計画に基づき、老朽化した施設の改修、補修又は設備更新を実施」は、長期で10年
- 「学校体育施設の開放」の
- ★新規「各学校体育施設の利用状況調査の実施」は、短期で3年
- ★新規「学校体育施設の利用率の低い学校の原因調査の実施」は、短期で3年
- ★新規「利用率の低い施設の情報を近隣学校間で共有する仕組みの検討」は、中期で5年

【基本方針2：学校における体育・スポーツの充実】

『子どもの体力向上等に向けた運動・スポーツ活動の促進』だが

「異校種間によるスポーツ交流の実施」の

- 拡充「運動部に所属する中・高校生が小学生を指導するなど異校種間によるスポーツ交流を実施」は、中期で5年



【基本方針3：競技力の向上】

『ジュニア選手の育成・強化』だが

「ジュニア選手の強化練習・指導の充実」の

★新規「ジュニア選手を指導する指導者が一堂に会し、情報の共有化を図る場として、スポーツ指導者シンポジウムを開催」は、平成24年度に実施

「成長期のジュニア選手のサポート」の

★新規「ジュニア選手を指導する指導者を対象としたスポーツ障害や栄養指導に関する講習会等の開催」は、短期で3年

★新規「広島県医師会スポーツ医部会等の関係団体と連携したジュニア選手を対象とした継続的なサポート体制の検討」は、長期で10年

『選手強化に向けたサポート体制の構築』だが

「指導者の養成・確保」の

★新規「ジュニア選手を指導する指導者が一堂に会し、情報の共有化を図る場として、スポーツ指導者シンポジウムを開催」は、平成24年度に実施（再掲）

★新規「一貫した指導体制を踏まえた指導者の養成・確保の方法及び指導者がもっと地域で活動しやすい体制の検討」は、長期で10年

「競技団体の練習場所の確保」の

★新規「休館日や開館時間外におけるスポーツセンター等を競技団体の練習場所として利用してもらえるよう、ニーズを掘り起こすためのアンケート調査を実施」は、短期で3年

【基本方針4：まちの活力創出に向けたスポーツの振興】

『国際的・全国的なスポーツ大会等の開催・誘致等』だが

「国際的・全国的なスポーツ大会等の誘致」の

★新規「広島で大会を開催する魅力やメリットの効果的なPR、受入体制の充実の検討」は、中期で5年

「トップアスリートの強化合宿の誘致と合宿中における市民との交流事業の実施」の

★新規「「JOCパートナー都市協定」の効果的な活用方法の検討」は、中期で5年

★新規「広島で合宿を行う魅力やメリット等の効果的なPR、受入体制の充実の検討」は、長期で10年

「市民レベルの全国的なスポーツ大会等の開催・誘致」の

★新規「既存の市民参加型の全国大会を調査し、誘致に向けた働きかけとPR活動を展開」は、中期で5年

★新規「国際平和マラソンについて、大会コースの見直しやフルマラソン化について検討」は、中期で5年

★新規「新たな市民参加型の全国的スポーツ大会の開催の検討」は、中期で5年

「環境保全の視点に立ったスポーツ大会等の運営」の

★新規「各競技団体と連携し、環境保護の視点に立った大会やスポーツ教室の運営方法についての調査・研究」は、中期で5年

『トップス広島等との連携によるプロスポーツ・企業スポーツ等の振興』だが

「地域スポーツ振興担当コーディネーターによるスポーツセンターを拠点としたトップス広島の応援気運の醸成」の

★新規「地元で活躍するチームへの重点的な応援を各区で実施し、より地域に密着した形での

- 支援をするなど、スポーツセンターを拠点に地域スポーツ振興担当コーディネーターが学区体育団体各区連合会や子ども会、スポーツ少年団などの地域団体と連携し、各区単位での市民応援組織の創設に向けて検討」は、長期で10年
- 「地元スポーツチーム、地元出身選手の試合開催や成績等についての情報提供」の
- 拡充「広島市ホームページを活用し、広島出身のオリンピック等への出場選手の紹介や、トップス広島に加盟する各チームの試合日程や試合会場へのアクセス方法、会場でのイベント情報などより充実した情報の提供」は、短期で3年
  - 「にぎわいの創出に向けた地元スポーツチームや観光部局等との連携事業の実施」の
  - ★ 新規「観光部局等と連携し、トップス広島を中心とした地元で活躍するスポーツチームを貴重な観光資源として活用した事業の展開」は、中期で5年
  - ★ 新規「地元スポーツチームと地元商店街等がタイアップした事業を検討し、実施に向けたコーディネート」は、中期で5年
  - 「トップス広島をはじめとする地元スポーツチーム等と協働したスポーツ教室等の実施」の
  - 拡充「学校運動部員、スポーツ少年団、国体選抜などと地元スポーツチーム等との合同練習の実施」は、中期で5年
  - 拡充「各チームが実施するイベントに合わせたスポーツ教室等の実施など、効果的な実施方法の検討」は、短期で3年
  - ★ 新規「トップス広島をはじめとする地元のスポーツチームやトップアスリート、指導者やOBが、運動部員や指導者に対し指導が行える仕組みづくりに取り組む。」は、中期で5年
  - 「プロスポーツチームや企業スポーツチーム等が実施するイベントへの支援」の
  - 拡充「応援気運の醸成やスポーツ教室への参加者の増加につながるよう、各チームが実施するイベントに合わせてスポーツ教室等を開催するなど、双方にとってより効果がある方法の検討」は、短期で3年

以上、事務的な整理の区分けとして紹介させていただいた。

#### 〔東川会長〕

山下委員、竹本委員から出された質問についての答えになったかと思うが、これに関連した質問があったらお願いしたい。

#### 〔曾根委員〕

2点ほど質問がある。

1点目は、6回くらい「アンケート調査を実施する」ようになっているが、調査を実施してこれを集計・分析するという作業は全部外部委託になるのか。

#### 〔スポーツ振興課課長補佐〕

予算が伴うような委託について、新規でやる場合は財政当局の予算査定を受けないといけないので、今のイメージでは、自力でつくって実施すればいいと考えている。

ただ、技術的に難しいとか専門的に検討しないと出来ない場合には予算要求をした上で、外部委託という可能性も中にはあるかもしれない。

#### 〔曾根委員〕

2点目は、8ページの「多様で魅力あるスポーツ環境の整備」だが、「校庭の緑化や校舎の壁面緑化、校庭の芝生化推進モデル校などの実施状況を踏まえ、快適なスポーツ環境の確保に向けた施設の充実に取り組む」とあるが、広島市のホームページでモデル校等の紹介などは行っているのか。

#### 〔指導第一課課長補佐〕

校庭の芝生化推進モデル校は、安西小学校と庚午小学校の2校であり、校庭の芝生化の状況については、この小学校のホームページの方で紹介している。

#### 〔曾根委員〕

小学校のホームページではなかなかアクセスしない。このことは計画の中に入っているのも、もし可能であれば、広島市のホームページの中で紹介するのが重要と思う。それが広島市の姿勢につながるのではないと思う。

広島市が校庭の芝生化に反対しているというのを聞いたことがあり、そういった誤解をなくす為にも広島市のホームページで紹介した方がより市民には見えてくるのではないと思う。

#### 〔指導第一課課長補佐〕

校庭の芝生化については県の事業として実施したものであり、昨年度、6月補正で予算化することとなったため、全体が芝生になったのは9月・10月頃であった。

そのため、春先から夏までの様子がわからないことから、本年度引き続きモデル校において調査・研究を実施している。現在、この2年間の実施状況をまとめており、ホームページ等で紹介することについては、これから検討していきたいと思っている。

#### 〔鍋島委員〕

中国新聞の「生きて」という欄に鼻地(しょうち)三郎さんの生き方が掲載されたと思うが、最初の書き出しは「私の青春は95歳から始まった。95歳から99歳までは青春の序奏であった。100歳ではじめて本格的な青春に入って世界講演活動を始めた」という、鼻地さんが「しいのみ学園」を創設された結果、彼の生き方を新聞でそう捉えられたのではないと思う。

高齢社会というのは、この10年計画でも元気のいい団塊の世代が入ってくるため、スポーツ環境も社会環境も大きく変わってくると思う。そこに先ほどの短期、中期、長期の計画の出し方があるが、スポーツ施設等を見ても、今まではスポーツを楽しむことが大切であったが、今後は健康に対しての「予防スポーツ」という仕組みを作ることも必要となってくる。

スポーツセンターの扱いとか各学校の夜間の活用方法などが計画に出ているが、これからは、高齢者がどんどんその領域を活用させてもらうということになると思う。

指定管理者制度を導入しながら社会事業としていかに業績を上げていくかが期待されており、高齢者に対しては若い人の邪魔をしないような形をつくっていく為に色々な組み合わせも必要となってくるのではないと思う。

総合型地域スポーツクラブにしても、これから先は高齢者が活用しているデイケアセンターとか、高齢者の健康施設など、施設のフロア等を活用しながら地域の高齢者もそこに行って、スポーツを楽しみ、リハビリしながら健康を増進していくことをこれから論議していく必要がある。

そういう色々な組み合わせを考えながら高齢化社会に3年後、5年後、10年後はどうかを想定しながら、具体的な実施段階においては、高齢者が増えるということを前提にした色々な施策を打っていただきたい。

#### 〔東川会長〕

5年後あたりには見直しということもあるので、我々の意識の中で持つておかななくてはいけないことだなと思っている。

#### 〔山下委員〕

12ページの「民間主体のサッカー専用スタジアム」というのはいつ頃の話になるのか。また「民間主体」という文言で色々あったと思うが、「民間主体」というのはどういう整理になっていたか、教えていただきたい。

#### 〔東川会長〕

最初に答申を出した時にどういう形で納めたかということと、その後の進展について、事務局の方で説明をお願いしたい。

#### 〔スポーツ振興課長〕

事務的な話ではあるが、広島県、広島県サッカー協会やサンフレッチェ広島等と一緒に広島市域内においてどのような施設が必要かについて、今年の8月以降から数回にわたり検討の場を設けて話をしている。

今、誰が作るか、どこに作るか、誰がお金を出すかということではなく、まず、何故いるか、どういったものがあるかなど、そういったところを皆で共有する方向でサンフレッチェ広島やサンフレッチェ後援会、広島県サッカー協会、広島市、広島県が一緒になって話を進めている。広島県サッカー協会が中心にその辺りを整理しており、年明けからも2回～3回、話し合いをしている。

#### 〔スポーツ振興課課長補佐〕

本日は新しい委員もいらっしゃるので、いきさつを簡単に説明したい。

いただいた答申の中では「民間主体」という言葉は入っていなかったが、その中で、第5次の広島市の基本計画の中では「民間主体のサッカー専用スタジアム整備の気運に呼応して必要な支援に取り組む」というふうに「民間主体」という言葉が入っていた。

スポーツ振興計画自体が第5次の広島市基本計画の部門計画であるということから、審議会の方では基本計画の施策をスポーツ振興計画の中にどのように取り組むかということも議論いただき、その結果、サッカー専用スタジアムの整備について「民間主体」の整備を強調して記載すると、現下の厳しい経済情勢の下では、広島市の姿勢が消極的であるとの印象を市民に与え、サッカー専用スタジアム整備への市民の期待感が薄れて、その実現に向けた気運が後退するのではないかという意見があり、答申の中では、敢えて「民間主体」という文言を記載しなかったということである。

ただその中でも、このことが基本計画の記述の趣旨を変えるものではなく、サッカー専用スタジアムの整備については、今後、サッカー専用スタジアム推進プロジェクトにおける検討結果などを踏まえて、積極的な支援に取り組まれない。という付帯意見をつけて一昨年答申をい

ただいたということである。

これを受けて、本市の方で最終的にスポーツ振興計画の決定をした際には、第5次の基本計画通りの文言にして決定したという経緯である。

〔東川会長〕

只今の説明で良いか。

それでは議題の2については以上でご検討いただいたこととする。

(3) 平成24年度 スポーツ振興関係予算について

〔スポーツ振興課長〕

(議事資料3説明)

〔東川会長〕

平成24年度スポーツ振興関係予算の説明に何かご意見あるいは質問があったらお願いしたい。

これで良いか。

〔全委員〕

意義なし

3 閉会